

水土里情報活用ニュース・レター

第136号

目次

1. 地理情報システムの活用による土地改良区業務の
効率化(宮城県) … 1
2. 土地改良施設情報のGIS化と土地改良施設台帳整備
(茨城県) … 3
3. ほ場整備事業におけるGISの活用(新潟県) … 5
4. 水土里情報システムにおける農業水利施設情報の
一元管理(鳥取県) … 7
5. モバイル版クラウド水土里情報システムを活用した
ため池緊急点検調査(福岡県) … 9

■お問い合わせ先(全体)

農村振興局設計課計画調整室 長期計画班 三田村、沖 (電話番号) 03-6744-2201

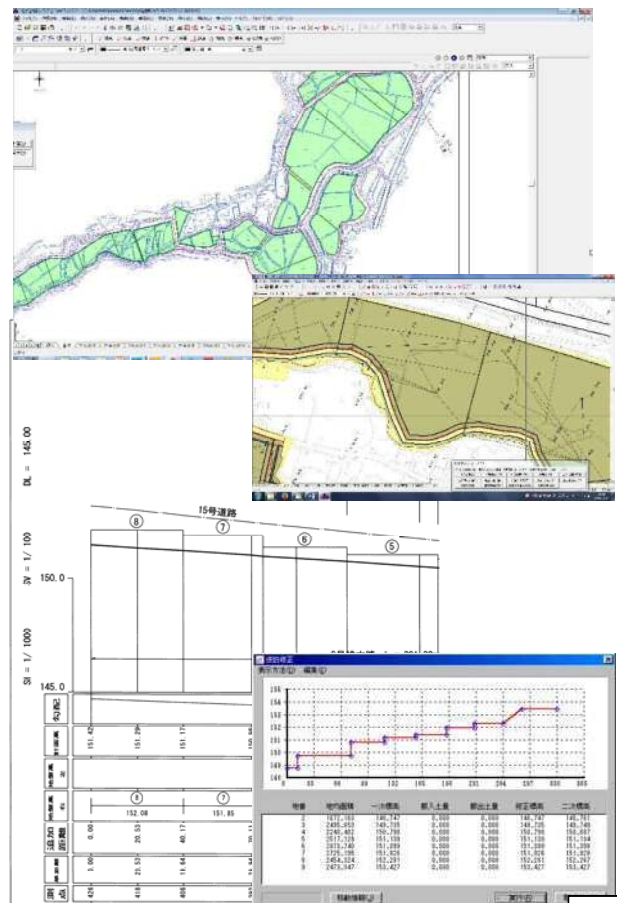
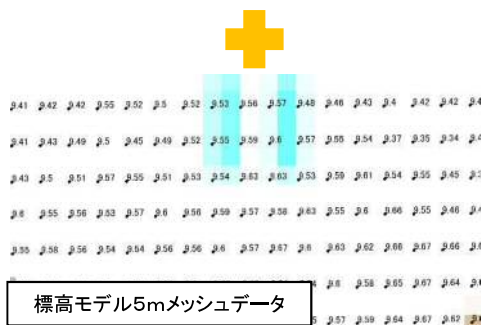
ほ場整備事業におけるGISの活用

今回紹介する団体:新潟県土地改良事業団体連合会

取組概要

内容: 県営ほ場整備事業地区において、国土地理院が提供する「標高モデル5mメッシュデータ」の活用により、事業計画段階の図面作成や土量等の数量計算の簡素化を実施した。

- 経緯: ①ほ場整備事業の実施において、速やかに換地計画等を策定するために、設計業務の効率化と換地部、関係土地改良区等との合意形成の円滑化が求められた。
- ②このため、GIS上で背景地図(数値地図、オルソ等)と筆データ(水土里情報データ)及び国土地理院が提供する「標高モデル5mメッシュデータ」を組み合わせ、地均し計算ソフト(ScanSurvey)等を活用した土量(移動量)や計画図・縦断図・横断図、数量計算書等の作成を実施。
- ③さらに、実際の測量結果及び換地計画と組み合わせたGISデータの作成を実施。



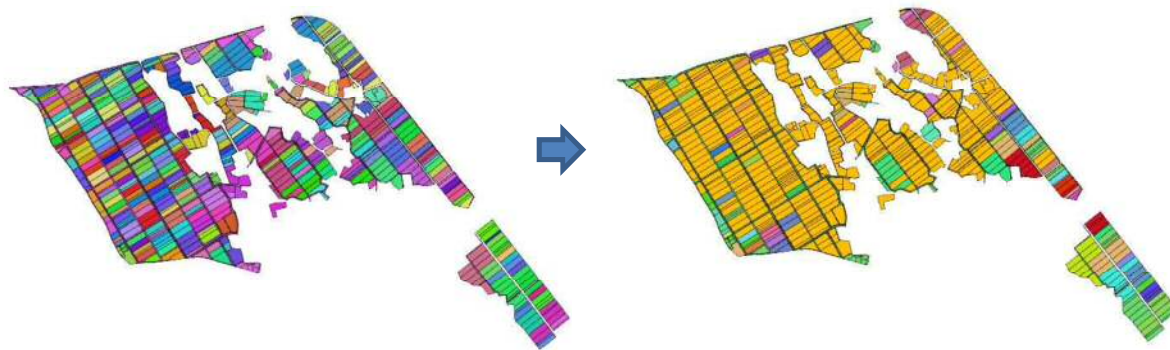
取組による効果

- ①本取組で作成したデータは、工事段階における土工(土量計算)の修正や変更に対応できるため、変更図面や変更数量計算が簡素化できた。
- ②土地改良区等の関係機関とGISデータのやりとりが可能となり、事業計画の共有、合意形成を円滑に行うことができた。
- ③事業完了後は、土地改良区のデータ(賦課台帳、施設管理台帳等)と連携し、維持管理等や農地集積等の資料としての利用が期待される。

農地集積図

集積前

集積後



今後の活用予定

本取組に活用した標高5mメッシュデータは、広域の範囲でも入手ができ、容易に標高の確認が可能なことから、特に中山間地のような勾配がある所で活用が期待される。今後県と調整を図り、県内での取組の普及を進めていく。

GISシステムのバージョン情報

スタンドアロン

ArcGIS

SucanSurvey

■お問い合わせ先

新潟県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター(技術部情報課) 025-286-1194